

## 矢田貝家文書平成 25 年度調査概報

### 第四次・第五次調査の成果と今後に向けて

富 善 一 敏

#### 1. 平成 25 年度調査の経過

筆者は矢田貝家文書（鳥取県西伯郡伯耆町上細見）について、本誌前号及び前々号でこれまでの調査について報告してきたが<sup>1</sup>、今年度も平成 25（2013）年 6 月に第四次調査、9 月に第五次調査を行い、平成 23 年 4 月に着手した本文書の概要調査を終えることができた。この小文では、まず両調査の経過と今年度調査分の史料の内容を述べ、最後に今後の展望を記すことで、3 ヶ年にわたる本調査概報の結びとしたい。

##### 1.1. 第四次調査

第四次調査は、平成 25 年 6 月 8 日から 10 日にかけて実施した。参加者は、小島浩之（東京大学経済学部資料室・講師）、矢野正隆（同・特任助教）、齋藤邦明（東京大学大学院経済学研究科博士課程・日本学術振興会特別研究員）、二階堂行宣（同）、棚井仁（東京大学大学院経済学研究科博士課程）、鄭ニョン（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）、坂口正彦（日本学術振興会特別研究員）、小島庸平（東京農業大学国際食料情報学部・助教、8～9 日）の各人及び筆者（東京大学経済学部資料室・特任専門職員）の 9 名である。

今回調査で終了したのは、土蔵 2 階奥部屋床 1・2、同手前部屋北面棚上 8～16、同北面 1 段目 1～3、同東面箆筥上、同東面長持上、同東面中央小箆筥 1～3、同東面階段横小箆筥 1～3、土蔵 1 階第一室床 1・2、主屋ナンド仏壇下箆筥

1～3、同仏壇右上押入 1～3、主屋オクナンド北面押入 1～5、同北面押入書籍 1～8、同南面トコ上棚書籍 1～3、主屋中 2 階仏間上の 47 単位、約 10,240 点である。

また、本調査に関する地元放送局の取材が 2 件（6 月 8・10 日中海テレビ放送・本池美香記者、9 日 BSS テレビ山陰放送・入江直樹記者）あり、後日ニュースで放映された<sup>2</sup>。



写真 1. 第四次調査（中海テレビ放送・本池美香記者取材）  
（二階堂行宣氏提供）

##### 1.2. 第五次調査

第五次調査は、平成 25 年 9 月 11 日から 13 日にかけて実施した。参加者は、前述の小島浩之・矢野・二階堂・棚井・坂口・小島庸平各氏と筆者の 7 名である。

今回の調査で終了したのは、土蔵 1 階廊下 1・2、主屋中 2 階土間上部灯籠、同土間上部木箱書籍類 1～3、同土間上部文書類・地券、同ミセ上部手習類、同ミセ上部襖下張、土蔵 1 階前室西面手前本棚、同西面奥本棚 1・2、同東面本棚 1～3、土蔵 1 階廊下書籍 1・2、同廊下図録 1・

2 の 19 単位、約 3,150 点である。

9 月 12 日に鳥取県立公文書館県史編さん室専門員の渡邊仁美氏が来訪され、当家文書のうち、『新鳥取県史 資料編』編纂に必要な文書の写真撮影を行った。また同日、今後の内容調査(文書 1 点ごとのリスト作成)のために、概要調査済史料 12 箱と未了分 3 箱を東京大学経済学部資料室(以下当室と略す)に移送した。

翌 13 日の調査終了後、当家文書に関する知見を深めるために、小島庸平氏作成の資料に基づき、上細見の矢田貝家墓地、大江の矢田貝本家など近隣地域のフィールドワークを行った。この際には、前回調査に引き続いて中海テレビ放送・本池美香記者の同行があり、その模様が後日ニュースで放映された<sup>3</sup>。

帰京後の 11 月 22 日、当室に移送した概要調査未了分の最後の 3 箱(土蔵 2 階手前部屋東面床 1~3、591 点)の調査が行われ、矢田貝家文書段ボール 105 箱、総点数約 46,700 点の概要調査が全て終了した。予備調査も含め全 6 回の調査に要した日数及び人員は、21 日・延べ 112 人である。調査参加者の方々に、この場を借りて改めて御礼を申し上げたい。



写真 2. 第五次調査(二階堂行宣氏提供)

## 2. 平成 25 年度調査済史料の内容

第四次・第五次調査で概要調査を行った史料について、その大まかな内容と点数は以下の通りである。なお記述の順番は、土蔵 2 階→土蔵

1 階→主屋の順であり、調査作業の順番とは一部異なることを予めお断りしておく。

### 2.1. 土蔵 2 階奥部屋床

中央部の長持の間にあった文書。床 1 は琴の小箱(中に文書あり)、床 2 には明治 34(1901)年 3 月「仕立物遺 澄重分」(古文書を裏打ちしたもの)があった。

### 2.2. 土蔵 2 階手前部屋北面

棚上に年度別書簡・葉書類括り紐一括が並び、その下の棚の一段目には書物を入れた木箱が 3 箱あった。第三次調査に引き続き概要目録の作成を行い、終了した。

棚上-8:「昭和十七年度」の札を付した、四代矢田貝<sup>けんぞう</sup>顕造宛書簡・葉書類括り紐一括。古美術、千代田生命保険関係など。約 740 点。

棚上-9:昭和 18(1943)年矢田貝顕造宛書簡・葉書類括り紐一括。富国徴兵保険相互会社書類あり。約 620 点。

棚上-10:昭和 19 年矢田貝顕造宛書簡・葉書類括り紐一括。約 660 点。

棚上-11:昭和 20 年矢田貝顕造及び五代<sup>しゅくろう</sup>淑朗宛書簡・葉書類括り紐一括。昭和 6(1931)年帝国美術鑑定局鑑定書あり。約 280 点。

棚上-12:昭和 20 年度の札を付した、矢田貝顕造宛書簡・葉書類括り紐一括。昭和 20 年度鳥取県西伯郡大幡村歳入歳出予算書あり。154 点。

棚上-13:昭和 21 年度の札を付した、矢田貝顕造宛書簡・葉書類括り紐一括。大幡村農業会議案、大幡村国民健康保険組合収入支出予算書、鳥取県自治党立党宣言、大日本名和公会々報、大正 9(1920)年三代矢田貝<sup>なおじ</sup>猶治宛大阪振替貯金課封筒あり。430 点。

棚上-14:昭和 24 年度の札を付した、矢田貝

顕造宛書簡・葉書類括り紐一括。11 月分出納簿、昭和 23 (1948) 年『教化』(社会教化聯盟発行) あり。273 点。

棚上-15: 「昭和廿二年」の札を付した、矢田貝顕造宛書簡・葉書類括り紐一括。矢田貝顕造写真あり。約 265 点。

棚上-16: 「昭和廿三年度」の札を付した、矢田貝顕造宛書簡・葉書類括り紐一括。約 310 点。

棚 1 段目-1: 3 段の木箱に入った近世～明治期の版本類。『将棋啓蒙 下』、安政 6 (1859) 年『いろは節用集大成』、『重修真書太閤記』(洋装) 4 冊、明治 20 (1887) 年『絵本赤穂義士銘々伝』2 冊、同『大久保武蔵鎧』、明治 17 (1884) 年『南海紀聞音信』、『真田三代記』、明治 26 年住 (1893) 田宗一宛書簡袋入り一括、二代矢田貝平重宛書簡。52 点。

棚 1 段目-2: 3 段の木箱に入った版本。寛政 12 (1800) 年～文化 6 (1809) 年『絵本楠公記』30 冊。

棚 1 段目-3: 縦 3 段・横 2 段の木箱に入った文書・版本類。

文書類として、まず天明 4 (1784) 年「会見郡田畠数同畑高員数...」(横半帳) があげられる。本文書は、会見郡の田畑の面積・石高・年貢率、小物成、運上銀、古城旧跡、大庄屋など村役人の人数、漁舟数、村名一覧などを記した、会見郡明細帳(郡勢要覧)ともいうべき文書であり、作成は上細見村の六郎兵衛である。幕末期に上細見村に分家した初代矢田貝齊さいいちろう一郎が入手し参考にしたのであろうか。

このほか、年次未詳『御両国別村付』(因幡・伯耆であろうか)、明治 6 (1873) 年伯耆国日野郡上野村荒地起返年季御請書、同

9 年伺願届認雛形、同 13 年『戸長必携 両編』(洋装)、明治 22 年大日本帝国憲法(活字) などがあり、初代齊一郎が村役人及び戸長として活動する際に使用したと考えられる。

次に版本類であるが、元禄 7 (1694) 年『増補食物和歌本草序』、安永 6 (1777) 年『和語陰陽録』、享和 2 (1802) 年『和合長久伝受』、同 3 年『文通大全』、文化 6 年『陰徳合戦記』(写本)、同 7 年『当時名人碁経亀鑑』、文政 7 (1824) 年出雲札所案内、天保 6 (1835) 年『庭訓往来具注鈔』、同 13 年『易道初学』、同 14 年『経典余師孝経』、弘化 2 (1845) 年『万宝古状揃大全』、『新板改正 弘化武鑑』4 冊、嘉永元 (1848) 年『忠臣銘々画伝』、同 6 年『万代用文章』、安政 5 (1858) 年『安政歌字尽』、明治 5 (1872) 年『世界風俗往来』、同 6 年『学問ノススメ 仮名再刻』、同 8 年『分数術』(長谷部勇写)、同 12 年『小学用文』、同 18 年『改良用文』などがある。初代齊一郎の蔵書が多数を占めると考えられ、その教養形成の一端を示している。42 点。

### 2.3. 土蔵 2 階手前部屋東面

奥の箆笥上に段ボール箱 1 つがあり、箆笥前の床には段ボール箱が 3 箱置かれていた。手前部屋の中央部には、抽斗が 7 つある小箆笥があった。また 1 階へ下りる階段の横には、長持の上に置かれた文書入りの竹籠と、3 段の小箆笥があった。概要目録作成終了。

箆笥上: 昭和 25 (1950) 年から 40 年にかけての矢田貝顕造宛書簡・葉書類が、各年毎に札を付して束ねられていた。昭和 26 年矢田貝顕造戸籍謄本あり。約 3,600 点。

床-1: 段ボール箱入りの袋入り写真類。矢田

貝頭造の結婚写真、金婚式写真、叙勲記念写真ほか。また、矢田貝家の親族の見合いや結婚関係資料が、各人別に封筒に纏められていた。矢田貝頭造の選挙用「必勝」の書や感謝状もある。昭和初期～50年代。466点。

**床-2:** 段ボール箱入りの矢田貝淑朗関係アルバム・写真類。大正 15 (1926) 年松江高校卒業、国鉄勤務時代(近畿地方自動車局長・九州総局次長ほか)。矢田貝家家族関係のアルバムもある。大正 15～昭和 59 (1984) 年。22 点。

**床-3:** 段ボール箱入りの矢田貝淑朗関係アルバム・写真類、米子中学校在学時代、国鉄勤務時代(近畿地方自動車局長、施設局用地課長、貨物局設備課長、経理局審査課長など)、福島臨海鉄道株式会社専務・社長時代など。アルバムの表紙には淑朗氏が自らタイトルを付す。ほか、淑朗氏の松江高校在学時の資料や、矢田貝家親戚のアルバム・写真あり。昭和 15 (1940) ～平成 11 (1999) 年。103 点。

**長持上:** 昭和 3 (1928) 年の矢田貝澄重(猶治妻)及び頭造宛書簡・葉書 1 束。同 18 年の矢田貝頭造・淑朗宛書簡・葉書 1 束、軍事郵便多数。竹籠に入れられていた。128 点。

**中央小箆笥-1:** 手前部屋中央部の小箆笥 1 段目抽斗にあった、矢田貝澄重関係の書籍類。明治 32 (1899) 年『初心生花早指南』、同 33 年『浄瑠璃さわり集』、美術織物標本、機織実験帳、衣服縫方の順など。明治 42 (1909) 買物帳もある。19 点。

**中央小箆笥-2:** 小箆笥最下部の抽斗に入っていた、矢田貝澄重関係の書籍及び裁縫道具・型紙類。安政 6 (1859) 年『他力念仏

九能書 いろは歌』、明治 23 (1890) ～40 年の料理書、高等小学校授業料領収簿・教科書、実業補習学校講習費・教科書、仏教書、縞心覚控帳など。約 130 点。

**中央小箆笥-3:** 小箆笥中央右側 4 段目の抽斗に入っていた、矢田貝澄重関係の型紙、折紙や和裁メモなど。101 点。

**階段横小箆笥-1:** 小箆笥 1 段目。「大正八年四月中学校入学後書類」(矢田貝淑朗米子中学校入学後の頭造からの葉書) 1 袋、大正 8 (1919) ～昭和 50 (1975) 年矢田貝頭造表彰状・褒状・感謝状・辞令類など。大正 14～昭和 5 (1930) 年の雇人帳もある。92 点。

**階段横小箆笥-2:** 小箆笥 2 段目。昭和 8～平成 2 (1990) 年の矢田貝淑朗卒業証書・成績書・東大卒業証書・辞令・表彰状など。28 点。

**階段横小箆笥-3:** 小箆笥 3 段目。明治 45 (1912) ～昭和 56 年矢田貝頭造・正己(猶治三男)・清茂(同次男)・準(頭造六男)・淳史(同四男)・治(同五男)各氏の学習証書(通信簿・修了証書)・表彰状など。134 点。

## 2.4. 土蔵 1 階第一室

土蔵 1 階中央部を第一室とした。床にある段ボール箱のうち、文書類 2 箱に番号を付して概要目録を作成した。

**床-1:** 明治 20 (1887) 年土地野取帳、大正 6 (1917) ～11 年宛口米取立帳、同 11・昭和 3 (1928) 年土地台帳、昭和 3 年宛口米台帳、同 5 年宛口米名寄帳、同 2～24 (1949) 年宛口米領収書綴、大正 5 年鳥取県西伯郡大幡村大字別字限図、昭和 12 年小作調停調書、同 21 年解放農地賃貸価格調査票など、地主小作関係文書が中心である。また

明治 42 (1909) 年呉服反物御通、大正 10 ~昭和元年原帳・出納簿、計算帳・日記帳、昭和 5 年賦償還金員貸借契約証、同 10 ~19 年複写原紙・便箋・葉書、同 27・28 年製造たばこ買受帳、同 29 年米子信用組合普通預金通帳などの経営関係文書があり、他に昭和 7 年社会教育委員会関係綴、同 7 年書画骨董鑑賞会出品目録、同 22 年郡界橋補償費関係文書などがある。408 点。

**床-2:** 明治中期から平成にかけての、矢田貝家家族・親族関係の写真・アルバム類。写真の一部に矢田貝淑朗・和子（淑朗長女）両氏が付したキャプションあり。平成 21 (2009) ~23 年の矢田貝家住宅文化財調査時に資料として提供した写真を含む。ほか平成 2 (1990) 年の矢田貝邸内測量図面、根雨土木事務所への陳情書、同 12~13 年「いかにして矢田貝邸を活用するか」(矢田貝家住宅公開準備関係) あり。約 400 点。

## 2.5. 土蔵 1 階廊下

土蔵 1 階の廊下にあった段ボール箱や書籍類のうち、文書の入った段ボール箱 2 箱に 1・2 の番号を付した。また書籍類のうち重要なものを抽出して文書保存箱 4 箱（書籍 1・2、図録 1・2）に詰め、概要目録を作成した。

**廊下-1:** 矢田貝顕造岸本町長選立候補襷、昭和 46 (1971)・50 年矢田貝顕造表彰状、昭和 10 年代矢田貝淑朗関係書簡・葉書、松江高校入学関係書類、昭和 39 年中国五県町村議会議長大会関係資料、同 40 年 6 月 24 日伯備線・山陰線複線化促進期成同盟通常総会関係書類。ほか昭和 38 年大幡小学校創立九十周年、同 39 年境港工業高校開校書類などがある。293 点。

**廊下-2:** 昭和 50 (1975) 年執務参考綴第 47

号(岸本町長矢田貝顕造)、同 42~46 年文化財行政関係切り抜き及び発掘報告書、同 43~46 年矢田貝顕造給料袋、同 42~43 年矢田貝顕造宛書簡・電報、徽章など、矢田貝顕造関係文書が中心である。ほか昭和 58 年矢田貝美世子(顕造妻)死去の際の会葬礼状及び辞世の句や、大正 12 (1923) ~昭和 35 年米子中学校会誌・同窓会名簿、米子東高校創立六十周年記念誌もある。約 360 点。

**廊下書籍-1:** 昭和 36 (1961) ~平成 18 (2006) 年の郷土関係図書(『岸本町郷土史年表』、『米子の歴史散歩』、『溝口町ふるさと散歩』、『日野川今昔写真集』、『米子中学二十四期生誌』、『箕蚊屋校跡建碑記念誌』、『米子東高校創立八十周年記念誌』、『岸本町勢要覧』など)。35 点。

**廊下書籍-2:** 『因伯叢書』第 1~6 冊。6 点。

**廊下図録-1:** 昭和 2 (1927) ~15 年の所蔵品展覧・入札目録(竹幹・公爵島津家・浅見家・山王荘・浅田家・松筠亭・紀州徳川家・北摂岸上家など)。10 点。

**廊下図録-2:** 昭和 3~15 年の所蔵品展覧・入札目録(稲垣家・原尚庵・江州日野高井家・神戸勝田家・有賀家・三楽庵・神戸川崎男爵家・説田家・藤田男爵家・香雲軒・平井東庵氏)。13 点。

## 2.6. 土蔵 1 階前室

土蔵 1 階入口脇の小部屋の西面(手前・奥)及び東面の本棚にあった文書・書籍類。まとまり毎に重要なものを抽出して文書保存箱に詰め、概要目録を作成した。

**西面手前本棚-1:** 明治 39 (1906) ~昭和 43 (1968) 年。『島根・鳥取名士列伝』下編、『西伯之資力』、『西伯詳覧』、『日野詳覧』、

『飯石・仁多郡詳覧』、『陰陽八郡勢一斑全』  
『米子市・西伯郡・日野郡名鑑』、『日野郡の  
林業』、『伯耆民談記』、『新見』、『阿哲案内』、  
『広益正子通』、『社会科講座』(東大学生文  
化指導会)など。ほか昭和 25 年日記帳(矢  
田貝美世子)あり。40 点。

**西面奥本棚-1:** 最下段左列の抽斗に入ってい  
た、矢田貝淑朗及び虎田徳正のノート。31  
点。

**西面奥本棚-2:** 最下段右列の抽斗に入ってい  
たもの。矢田貝淑朗松江高校水泳部関係資  
料、矢田貝顕造ノート、『翠松』(旧制松江  
高校)21~86号、松江高校寮歌祭など。115  
点。

**東面本棚-1:** 第一段左列の抽斗に入っていた。  
矢田貝淑朗・正巳・清茂・顕造の名前を記  
した木札、昭和 10 年代陸軍省学校教練教  
科書ほか。約 10 点。

**東面本棚-2:** 第一段右列の抽斗に入っていた。  
矢田貝滋樹(顕造次男)写真・ネガ、中学  
校野球大会メダルほか。62 点。

**東面本棚-3:** 大正 6(1917)~昭和 62(1987)  
年。大正 7 年「画成績」(6 学年矢田貝顕  
造)、大正 12~昭和 49 年の松江高校及び  
六高の学則及細則、寮歌集、校友会関係諸  
雑誌、同窓会誌、金属箱入りの徽章、米子  
管理部学徒隊腕章、昭和 21(1946)年矢田  
貝淑朗松江高校在学証明書、昭和 53(1978)  
年矢田貝顕造勲五等瑞宝章叙勲挨拶・祝辞  
など。214 点。

## 2.7. 主屋ナンド

主屋ナンドの仏壇下の 4 段の箆笥の右列第 2  
段の抽斗を仏壇下箆笥-1、中央列第 3 段の抽斗  
を-2、同第 4 段の抽斗を-3 とした。また仏壇右  
上の押し入れにあった蓋付きの箱 3 箱に、仏壇

右上押し入れ-1 から-3 の枝番を付し、概要目録を作  
成した。

**仏壇下箆笥-1:** 昭和 58(1983)年の歌日記(矢  
田貝美世子)、同 58~59 年矢田貝美世子法  
要関係文書、平成 4(1992)年矢田貝顕造  
葬儀・法要関係文書(弔辞・位記・履歴書・  
墓石契約書など)、大正 10(1921)年県立  
中学校三年中組矢田貝顕造夏期休暇日誌  
ほか。59 点。

**仏壇下箆笥-2:** 耕田院(矢田貝齊一郎)・長田  
院(矢田貝平重)・瑞松院(矢田貝猶治)・  
瑞景院(猶治妻澄重)・耕月院(齊一郎妻)  
の、香典帳・法事控・買物帳・到来記・米  
子買物・通帳・祝事控などの吉凶関係文書。  
明治 27(1894)~昭和 20(1945)年。74  
点。

**仏壇下箆笥-3:** 長香院(平重妻なか)・瑞景  
院・耕月院・瑞松院・長田院・耕田院及び  
矢田貝清茂ほかの葬儀記録・香典帳・見舞  
帳・弔辞などの不祝儀関係文書が、各人別  
に袋に入れられていた。明治 8(1875)~  
昭和 9(1934)年。110 点。

**仏壇右上押し入れ-1:** 漆箱入り。昭和 14(1939)  
~20 年大東亜戦争国債、同 18 年矢田貝顕  
造宛軍事郵便、同 23 年保険料領収帳、同  
46 年矢田貝顕造岸本町長当選証書、同 55  
~58 年故矢田貝美世子入院・葬儀関係文書  
ほか。矢田貝顕造宛米子中学校同窓会関係  
ほか。258 点。

**仏壇右上押し入れ-2:** 茶色木箱。昭和 5~25 年土  
地売渡証、雇傭人控、宛口取立調、建築用  
物資需要申告書、約束手形、所得税申告届  
控、葬儀関係文書ほか。117 点。

**仏壇右上押し入れ-3:** 金属製の菓子箱。大正 15  
(1926)年淑和会会員名簿、昭和 17(1942)  
年大阪振替貯金課からの書類。33 点。

## 2.8. 主屋オクナンド

主屋オクナンドの北面の押し入れにあった書籍類。箱入りのものを北面押入-1 から-5、それ以外のものを北面押入書籍-1 から-8、南面床上の棚に並べられていたものを南面床上棚書籍-1 から-3 と、それぞれ番号を付して文書保存箱に詰め、概要目録を作成した。

**北面押入-1**：桐箱。昭和 2（1927）年『真偽評価書画鑑定指針』30 冊。

**北面押入-2**：3 段の木箱。寛延 2（1749）年『周礼』一～七、明和 9（1772）年『茶式』、安永 2（1773）年『孟子』、天明 8（1788）年『尚書』卷三～一三、享和元（1801）年『陸放翁詩鈔』、天保 4（1833）年『春草堂詩鈔』一～四、文政 13（1830）年『日本楽府』、弘化 3（1846）年『増補元明史』三・四、明治 4（1871）年『竹外二十八字誌』一～四、同 8・17 年『日本外史』一～二十二など、昭和 39（1964）年までの和装本が中心。108 冊。

**北面押入-3**：桐箱。正徳 4（1714）年『慎思録』副三・六、明治 28（1895）年『慎思録』正一～六、8 冊。

**北面押入-4**：木箱。文久 2 年（1862）『名和氏記事』、明治 23（1890）年『方谷遺稿』、昭和 12（1937）年『日本庭園史図鑑』（室町時代～明治大正昭和時代三）、同 18 年『庭園新考』ほか、27 冊。

**北面押入-5**：明治 9（1876）年『丸山藤会図録』、同 13 年『黒煙供養図録』、同 25 年『出雲私史』、大正 4（1915）年『楓川追薦録』、同 14 年『日本建築史』、昭和 29（1954）年『名和世蒙』、同 32 年『建武民主革命と名和宰相長年』ほか歴史書・美術書・建築書類。81 冊。

**北面押入書籍-1**：大正 15（1926）年『浦上玉

堂』、同年『庭の作り方図解』、昭和 2（1927）年『日本建築詳細図』、同 39 年『日本の文学』ほか。22 冊。

**北面押入書籍-2**：大正元（1912）年の国民文庫 5 冊、昭和 56 年『出雲国風土記参究』ほか。19 冊。

**北面押入書籍-3**：昭和 9（1934）年『山陽と竹田』（雑誌）、同 13 年『陶器図録』一～十二、同 15 年『大山史』、『出雲における小泉八雲』、同 19 年『茶禅不昧公』ほか。44 冊。

**北面押入書籍-4**：『支那事変陣中日誌』、昭和 44（1969）年『大世界史』、『島根農林水産統計四十年史』ほか。17 冊。

**北面押入書籍-5**：昭和 6（1931）～8 年『日本画大成』16 冊。

**北面押入書籍-6**：同『日本画大成』13 冊。

**北面押入書籍-7**：昭和 15（1940）年『大仏師運慶』、昭和 49（1974）年『しまね史記』、同 61 年『因伯名流伝』ほか。12 冊。

**北面押入書籍-8**：大正 14（1925）～昭和 11 年蔵品入札目録（奥谷秋石先生、外村定次郎、有尾敬重、渡辺霞亭、鳥取本村家／本八田家、簸川郡園村本郷原家、洛西北山日置家、出雲今市遠藤家、西伯郡米子近藤家／松江市松井家、松江市西代家、伯爵勝家／柳下家ほか）、昭和 10（1935）年『頼山陽詩集』、『山陰の鉄道建設史』ほか。55 冊。

**南面床上棚書籍-1**：安永 3（1774）年『茶経詳説』上下、天明 6（1786）年『楽焼家系図』（写本）、天保 4（1833）年『山陽詩鈔』、同 15 年『茶経』上下、嘉永 2（1849）年『頼山陽先生手簡』一～五、安政 4（1857）年序『星巖先生遺稿』、文久 3（1863）年『青湾茶会図録』天地人、昭和初年所蔵品入札目録ほか。88 冊。

南面床上棚書籍-2: 文化 3 (1806) 年『訂正出雲風土記』乾坤、天保 10 (1839) 年『自画題話』、嘉永 5 (1852) 年『書画類選』(折本)、安政 7 (1860) 年『小竹斎詩抄』一～五、明治 11 (1878) 年『山陽遺稿 文詩』、大正 3 (1914) 年『増補古今日本書画名家辞典』ほか。43 冊。

南面床上棚書籍-3: 享和元 (1801) 年翻刻『茶史』上下、天保 6 (1835) 年『桂園一枝』、同 11 年序『星巖集』、同 12 年『紅蘭小集』、大正 12 (1923) 年『亦復一楽荘清愛』、昭和 3 (1928) 年『和漢骨董全書』卷一～六ほか。39 冊。

## 2.9. 主屋中二階

主屋の仏間、土間及びミセの中二階(屋根裏)にあった文書・書籍類であり、平成 24 (2012) 年 8 月の第一次調査時に現状記録写真撮影を行い、段ボール 8 箱に収納した。今回概要調査を行い終了した。

仏間上: 明治 26 (1893) 年祝納録・目録・祝辞など結納関係文書、大正 13 (1924) 年東宮御成婚記念日本交通分県地図ほか。75 点。

土間上部灯籠: 灯籠(縦 23.5×横 23.5×高 27 cm)。「清酒醸造元 西伯郡大幡村 矢田貝商店」と記す。1 点。

土間上部木箱書籍類-1: 木箱に入っていた書籍類。明治 34 (1901) 年『小学新地理附図日本』、大正 9 (1920) 年矢田貝清茂(猶治次男)のノート、大正～昭和 30 年代のノート・プリント・教科書・参考書(英語研究、蛭雪時代)など。80 点。

土間上部木箱書籍類-2: 大正元 (1912) 年の錦絵複製(明治天皇ほか)、昭和 30 年代の教科書・参考書(蛭雪時代、The youth's companion ほか)、矢田貝正己の習字反古紙

など。205 点。

土間上部木箱書籍類-3: 大正 7 (1918)～昭和 34 (1959) 年のノート・教科書・参考書・問題集類。109 点。

土間上部文書類・地券: 蓋なし木箱に入った明治 11 (1878)～20 年の地券(上野村、大江・溝口、清原・口別所・久古・番原、添谷、長山、立岩、吉岡、宮原・谷川、上細見、会見郡各村。村別に封筒入り、写真撮影済)。明治 28 (1895)～大正 2 (1913) 年の日本・朝鮮・台湾各地の地図、明治 27 年『博物示教』、箱入りの印章など。432 点。

ミセ上部手習類: 大正 8 (1919)～昭和 3 (1928) 年頃の、矢田貝正己・清茂・顕造の書方綴、手習、作文、スケッチ、試験解答用紙、休暇日記類。197 点。

ミセ上部襖下張: 襖下張 2 点(174.5×77.5、265×308 cm)、明治 21 (1888)～23 年質物帳、明治 30 年代の諸書類(税・銀行株主・村役場・議会・学校ほか)一括、鳥取尋常中学校校則ほか。約 940 点。

## 3. 今後に向けて

最後に、今後必要な作業と課題について簡単に述べ、この小文の結びにかきたい。

第一に、矢田貝家文書を当室に移送し、内容調査(文書の年代・表題・内容・作成者・宛先・形態などを記した文書 1 点毎の詳細リストの作成)を行いたい。内容調査が終了してはじめて、当家文書の正確な点数や内容が把握でき、今後の目録編成や研究の基礎データを得られる。膨大な点数のため一朝一夕にできる作業ではないが、外部資金の獲得なども視野に入れ、集中的に取り組みたい。

第二に、本文書の調査研究があげられる。当面の研究課題として、従来研究が乏しいとされ

る山陰地域地主制研究への寄与、初代齊一郎の経営活動と、家相図や占ト書への傾倒にみられる基層心性との関連、文書以外のモノ資料や書籍を含めた、矢田貝家資料の全体像の復元があげられる。調査メンバーを中心とする研究会を継続し、論文集などの形で成果を公表できればと考えている。

第三に、史料の公開と調査研究成果の地域社会への還元である。当家文書の史料群構造を、アーカイブズ学の立場から明らかにした目録を刊行し、当家文書を記録遺産として一般の利用に供したい。また、当家文書から分かる鳥取県西伯郡の地域的特性について、地域住民向け

の講演会やシンポジウムを行いたい。矢田貝家住宅及び当家文書・資料が、地域住民による新しい地域作りの素材になれば幸いである。

(2014年2月13日記)

【附記】調査にあたっては、矢田貝民子氏をはじめとする矢田貝家の皆様、矢田貝家住宅管理者の阿部禎男氏に大変お世話になりました。記してお礼を申し上げます。また昨年逝去された故矢田貝淑朗氏の墓前に、この小文を捧げたいと思います。

(とみぜん かずとし：東京大学大学院経済学研究科特任専門職員・経済学部資料室員)

<sup>1</sup> 富善一敏「矢田貝家文書第一次調査概報」『東京大学経済学部資料室年報』1, 2012.3, p.104-109、同「矢田貝家文書平成24年度調査概報：第二次・第三次調査」同2, 2013.3, p.75-85

<sup>2</sup> 「矢田貝家の調査」中海テレビ放送『コムコムスタジオ 中海テレビニュース』、平成25年6月11日午後6時-6時30分。BSSテレビ山陰放送『テレポート山陰』、平成25年6月25日午後6時15分-7時。

<sup>3</sup> 「特集 文化財の活用は」『コムコムスタジオ 中海テレビニュース』午後6時～6時30分。